

シアターラックシステム用壁寄せ金具 YTS-V1200 設置マニュアル

はじめに

- この設置マニュアルには、事故を防ぐための重要な注意事項と壁寄せ金具の組み立てかた設置について説明しています。この設置マニュアルとテレビ、ラックの取扱説明書を合わせてお読みになり、ご理解のうえ正しくご使用ください。
- 本製品の組み立て、設置には確実な作業が必要となります。設置マニュアルをよくお読みいただき、安全性に十分配慮して正しく組み立て、設置をしてください。
組み立て、設置や取り扱い不備による事故、損傷については当社は責任を負いません。
- 組み立て、設置の作業は、必ず2人以上でおこなってください。
- 設置マニュアルで指定されているネジや固定具は全数確実に取付けてください。
- 本製品は、指定されたところに、設置してください。また、お客様の安全のため、設置場所の強度にはテレビ、ラック及び本製品の荷重に耐えるよう十分注意のうえ、設置してください。
- 本製品は必ず壁に寄せて設置し、転倒防止の処置を行ってください。
- お読みになったあとは、大切に保管してください。

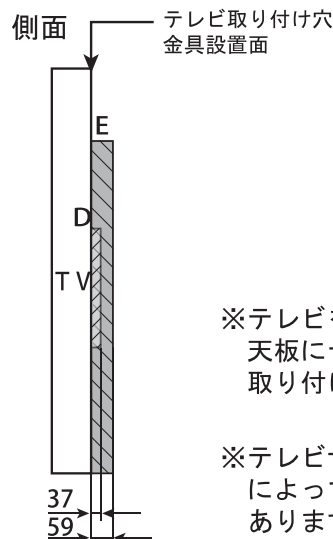
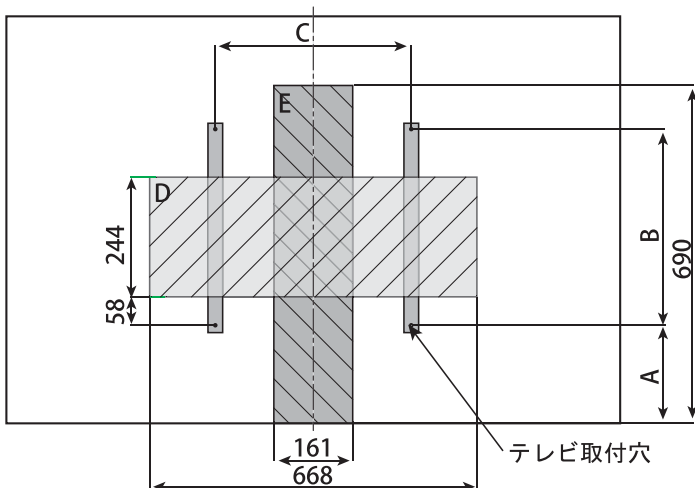
主な仕様	機種名	外形寸法	製品質量	耐荷重
	YTS-V1200	幅668mm×奥行70mm×高さ1207mm	8.3kg	50kg

設置の前に 取り付け可能テレビについて

- ◆本製品は、下記の取り付け条件のテレビを取り付けることが可能です。取り付け穴が合う場合でも、金具が通気口を塞ぐものや背面の引っ張り、取り付け位置によってはつかない場合がありますので、設置の前に必ず確認のうえ使用してください。また、定められた、画面サイズ・質量以上のテレビは使用しないでください。

対象テレビサイズ	60V型相当、50kg以下
対象ラックシステム	YRS-1100 / YRS-2100 (2010年9月現在)

テレビ外形(背面)



※テレビを取り付けた際にラックの天板にテレビがあたらない位置に取り付けて下さい。

※テレビサイズ、金具取り付け位置によっては、金具が見える場合があります。

- A, 390mm以下のこと(*1)
但し、支柱取り付け位置が、最下段につける場合は240mm以下のこと(*2)
- B, 200mm~400mmVESAピッチ
- C, 200mm~600mmVESAピッチ
- D, 斜線部引っ張り、37mm以下のこと
- E, 斜線部引っ張り、59mm以下のこと
- A~Eの条件に合致したもの

(*1) B寸法が400mm未満であれば取り付け可能な場合もあります。

(*2) 支柱取り付け位置が1段下がるごとに、可能な寸法が50mmづつかわります。



警告

サイズが合わないものを使用しますと転倒・落下し、故障・けがの原因となることがあります。

安全上のご注意 安全に正しくお使いください。守らないと火災、感電、けがの原因となります。

絵表示について 製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。



警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があります。



注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり物的障害が発生する可能性があります。

絵表示の意味



気をつけなければならない。「注意」を示します。



してはいけない。「禁止」を示します。



必ず行う。「強制」を示します。

設置するとき



警告



- 不安定な場所に設置しないでください。
- 頭や顔、手足をぶつける場所に設置しないでください。
- 必ず壁に寄せてください。壁から離して設置しますと、転倒して、破損やけがの原因となることがあります。
- 障子や襖、パーティション等の十分な強度がない場所に寄せて使用しないでください。



- 設置作業は必ず2人以上で行ってください。
- 必ず設置後には、転倒防止の処置を行ってください。
- 設置場所は十分な耐荷重強度のある壁及び、水平で安定した場所を選んでください。（傾斜面や、水平でない面、カーペット、畳などの安定しない面、変形する面などに設置しないでください。）



注意



- テレビは正しく取付けてください。
- 湿気やほこりの多いところ、油煙、湯気、たばこの煙の多い場所に設置しないでください。
- 振動の多いところや衝撃や大きな力がかかる場所に設置しないでください。
- テレビの通風孔をふさがないでください。また、テレビ周囲に十分に距離をとり、通風をさまたげないようにしてください。

使用するとき



警告



- ラックや金具に乗ったり、ぶら下がったり、踏み台がわりに使用しないでください。
- 部品を改造したり、正規の使いかた以外の使いかたをしないでください。
- テレビの角に寄りかかったり、物を載せないでください。
- 故意に揺らしたり、衝撃を与えないでください。
- 濡れた床や、ワックスをかけた床などでは使用しないでください。
- テレビを持っての移動はしないでください。（移動させる際は、必ずラックの底板を持って移動してください。）
- 高温にならない場所に置いてください。
直射日光が当たるところや、熱器具の近くに置くと塗装面のふくれやはがれ、変色の原因となります。
- 製品にセロハンテープなどの粘着性のものを付着させますと塗装面がはがれることがありますので、付着させないようご注意ください。



- ネジ締め箇所はすべてしっかりと締め付けてください。



注意

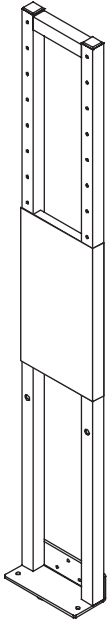
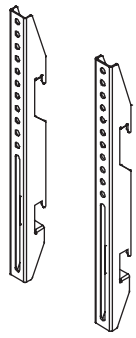

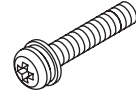




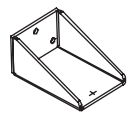
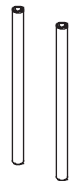
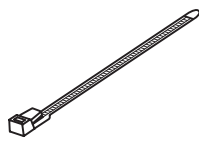

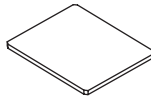



- 乱暴な取扱いや、用途以外の使用はしないでください。
- 記載されている耐荷重以上のテレビを設置しないでください。
- 商品の上に足を掛けたり、腰掛けたり、もたれかかったりしないでください。また、小さなお子様のいるご家庭では、ぶら下がったり、遊びに使わないように注意してください。



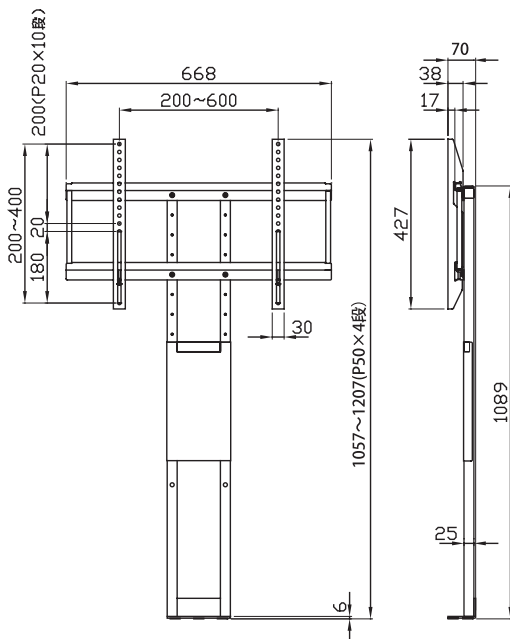
- 使用中にネジのゆるみやがたつきが生じた際は締めなおしてください。
- 汚れは乾いた布でふいてください。汚れがひどい時は水にうすめた中性洗剤に浸した布をよくしぼりふいてください。
なおベンジン、シンナー、家庭用ワックスなどでふくと変質したり、色が落ちる原因となります。

同梱品について 設置前に部品がすべて揃っているかご確認ください

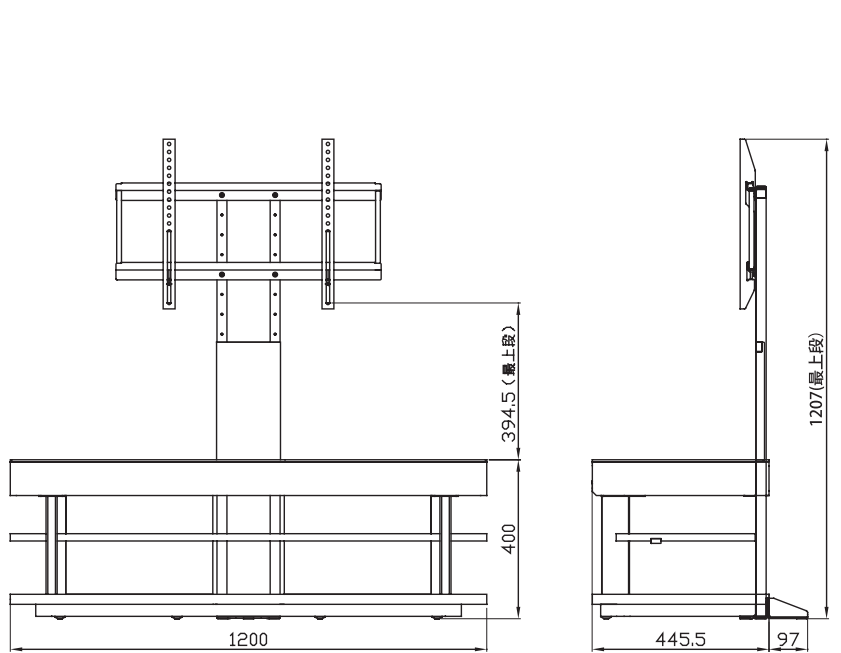
本体		組立部品		テレビ取付ネジ類																																								
 <p>支柱：1個</p>	 <p>テレビ取付金具：2個</p>	 <p>支柱取付ネジ M6×16サラネジ ：2個</p>	 <p>支柱取付ネジ M6×40ネジ ：2個</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>No.</th> <th>サイズ</th> <th>数量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>⑤</td><td>M4×16ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑥</td><td>M4×35ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑦</td><td>M5×16ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑧</td><td>M5×35ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑨</td><td>M6×16ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑩</td><td>M6×35ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑪</td><td>M6×20ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑫</td><td>M6×40ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑬</td><td>M8×20ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑭</td><td>M8×40ネジ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑮</td><td>M4用ワッシャ</td><td>4</td></tr> <tr><td>⑯</td><td>M5/M6用ワッシャ</td><td>4</td></tr> </tbody> </table>		No.	サイズ	数量	⑤	M4×16ネジ	4	⑥	M4×35ネジ	4	⑦	M5×16ネジ	4	⑧	M5×35ネジ	4	⑨	M6×16ネジ	4	⑩	M6×35ネジ	4	⑪	M6×20ネジ	4	⑫	M6×40ネジ	4	⑬	M8×20ネジ	4	⑭	M8×40ネジ	4	⑮	M4用ワッシャ	4	⑯	M5/M6用ワッシャ	4
	No.	サイズ	数量																																									
	⑤	M4×16ネジ	4																																									
	⑥	M4×35ネジ	4																																									
⑦	M5×16ネジ	4																																										
⑧	M5×35ネジ	4																																										
⑨	M6×16ネジ	4																																										
⑩	M6×35ネジ	4																																										
⑪	M6×20ネジ	4																																										
⑫	M6×40ネジ	4																																										
⑬	M8×20ネジ	4																																										
⑭	M8×40ネジ	4																																										
⑮	M4用ワッシャ	4																																										
⑯	M5/M6用ワッシャ	4																																										
 <p>横金具：2個</p>	 <p>M5×16ネジ ：9個</p>	 <p>M8×10 トラスネジ：4個</p>	 <p>スペーサー：4</p>																																									
 <p>補助脚：1個</p>	 <p>縦金具：2個</p>	 <p>結束バンド：1個</p>	 <p>タイベース：1個</p>	<p>※⑥、⑧、⑩、⑫、⑭のネジは、必ずスペーサーとセットで使用してください。</p> <p>※テレビのネジ穴のサイズは、機種ごとに違うため、ご使用の機種に最適なネジを選んでご使用ください。</p>																																								
 <p>傾き調整スペーサー ：8個</p>	 <p>ワイヤー：2個</p>	<p>上記に最適なネジがない場合は、各テレビメーカーの純正壁掛金具で使用されるネジのサイズをご確認の市販品などを別途お買い求めください（M4からM8まで）。</p>																																										

寸法図

金具のみ



ラックセット時

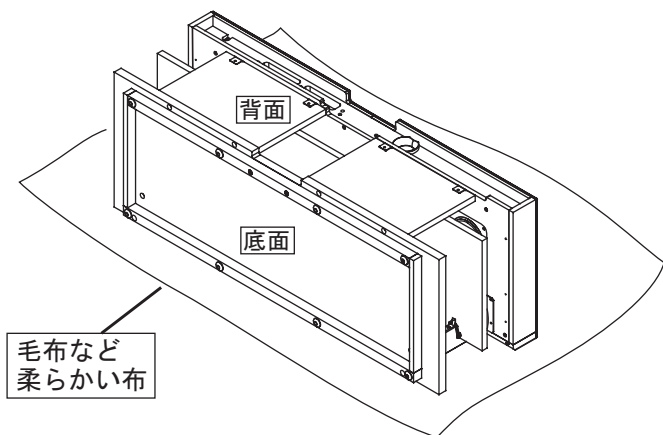


設置方法

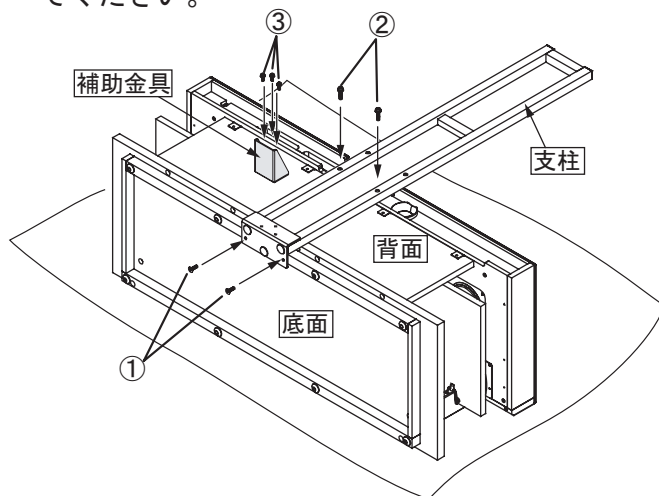
■ 設置前に⊕ドライバーをご用意ください。

1、ラックの正面を下にしてラックを倒して下さい。
ラックや床面を傷付けないように、毛布など柔らかい布を敷いて作業してください。ラックを倒す際には、ラックを傷付けたりけがをしないようにご注意ください。

※ラックの背面にカバーがついている場合ははずしてください。



2、ラックに付属のネジ①M6×16（2本）、ネジ②M6×40（2本）の順に、支柱を取り付け、ネジ③M5×16（3本）で補助金具を取り付けてください。



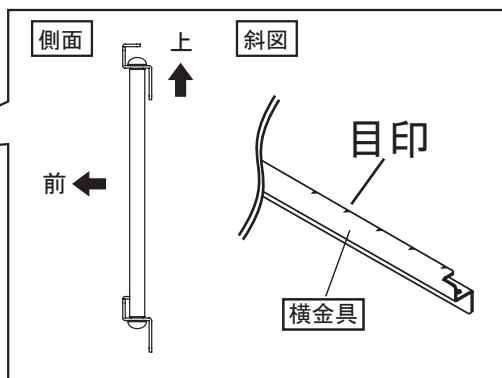
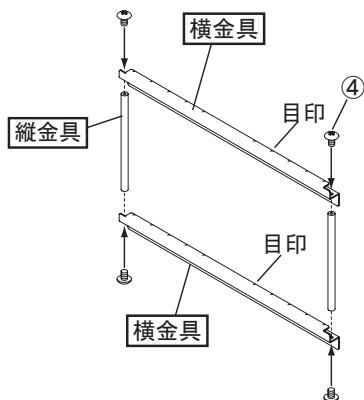
警告

- 支柱を固定するねじは、必ずしっかりと締め付けてください。締め付けが不十分な場合、支柱が転倒・破損してけがの原因となることがあります。
- 補助金具を取付けずに作業を行うと、スタンドが転倒してけがの原因となることがあります。必ず補助金具を取り付けて作業をおこなってください。



注意 ラックを倒す際は、ラックの天板ガラスは、はずして作業をしてください。また、棚板は不安定になりますので、ラック組立て、仮止めの位置にて作業してください。倒した際にはずれたり、倒れて、破損やけがの原因となることがあります。

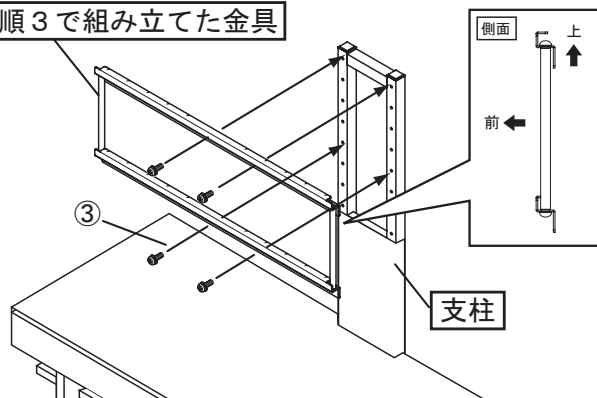
3、横金具（2個）と縦金具（2個）をネジ④M8×10ネジ（4本）で組み立ててください。



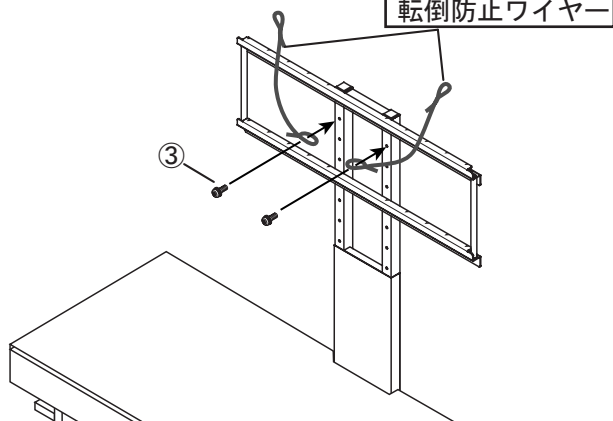
4、手順2で組み立てた支柱とラックを立てて、支柱に手順3で組み立てた金具を（目印を上向き）、ネジ③M5×16（4本）で任意の高さに取付けてください。

その後、転倒防止ワイヤー2本を支柱の任意の位置に③M5×16（4本）で止めてください。
（※開いている上段の穴を利用してください。）

手順3で組み立てた金具



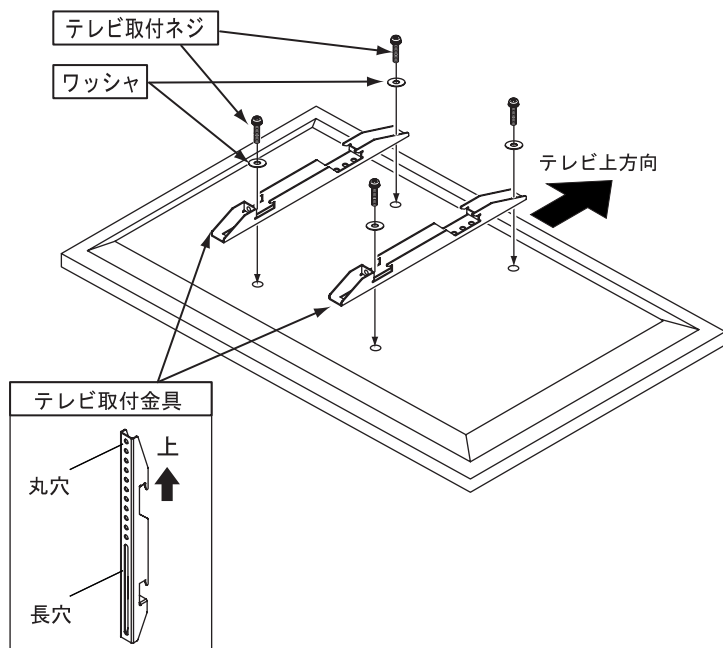
転倒防止ワイヤー



注意 金具の取付けの際は、スタンドが後方へ転倒しないように支えながら作業を行ってください。

5、テレビにテレビ取付金具（2個）を取付けます。

- i、テレビ背面に、ご使用のテレビに適用したテレビ取付ネジ⑤～⑭（4本）とワッシャ⑮、⑯（4個）を使用して、テレビ取付金具を取付けてください。※⑬、⑭のネジの場合ワッシャは使用しません。（*1）
- ii、テレビ裏面に凹凸があるものは、付属のスペーサーをご使用ください。（*2）

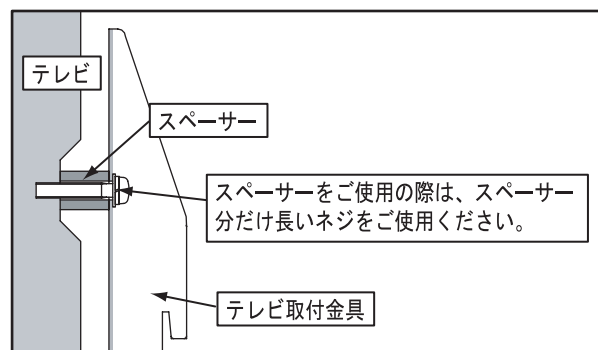


(*1) 【ご使用のネジについて】

- ・取り付ける前にテレビ背面の取り付け穴の深さを確認してください。ネジは太さが細いもの、長さの短いものから試してください。ネジは5周回るものをお選びください。また、長さが長すぎると、テレビの破損の原因になりますのでご注意ください。

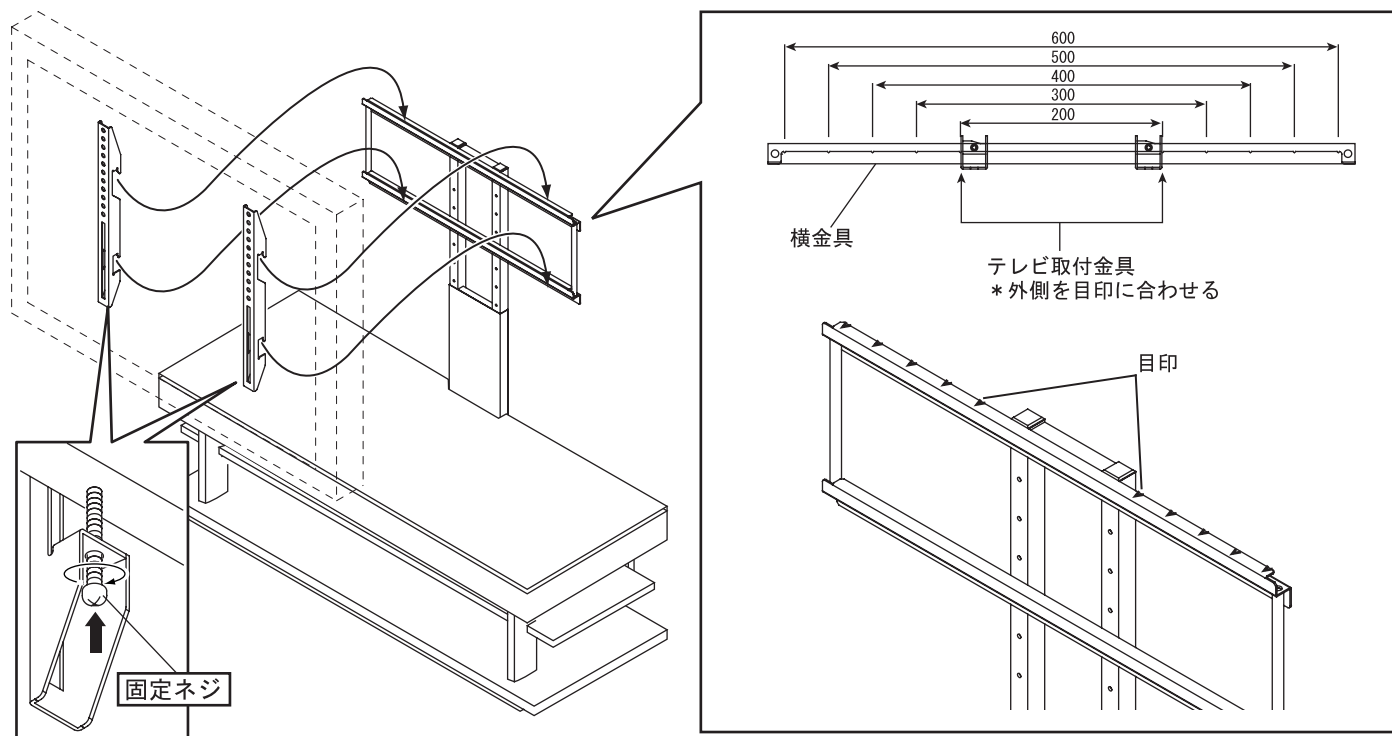
(*2) 【スペーサーのご使用について】

- ・テレビ裏面に凹凸があるものや、テレビのネジ穴周囲にへこみがある場合は付属のスペーサーを図のように金具とテレビの間に挟んでご使用ください。



必ずテレビ取付金具の取付けには、各テレビに最適なネジをご使用ください。ネジが適正でない場合、テレビが破損したり、落下してけがの原因となることがあります。

- 6、テレビ取付金具を取付けたテレビを横金具に引っ掛けて、テレビ取付金具底面の固定ネジ（2本）を締め付けて固定してください。テレビ取付金具は、左右偏りがないう横金具の目印に合わせ、テレビが中央にくるよう設置してください。



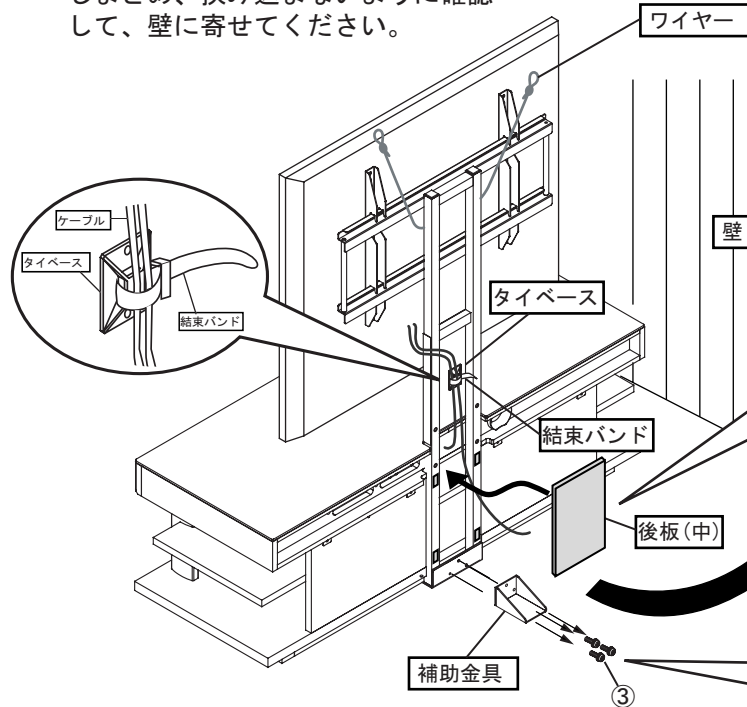
- ・テレビを引っ掛ける際は、スタンドが後方へ転倒しないように支えながら作業を行ってください。
- ・固定ネジはゆるみがないようにしっかりと締め付けてください。定期的にネジのゆるみがないか確認してください。



- ・テレビ取付金具は、左右偏りがないう横金具の中央に取り付けてください。左右偏りがあると、転倒やテレビが落下して、破損やけがの原因となることがあります。
- ・取付け後は、テレビ取付金具が、横金具にしっかりと引っ掛かっていることを確認してください。引っ掛かりが不十分ですと、テレビが落下したりして、破損やけがの原因となることがあります。

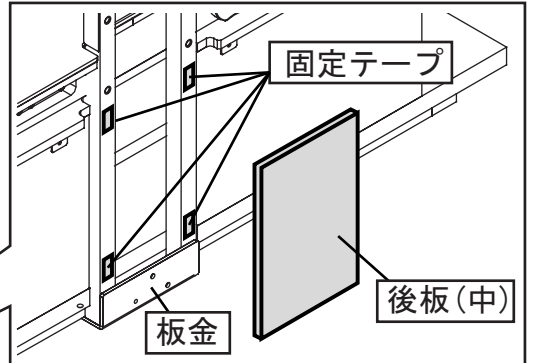
7、全ての設置が完了しましたら、補助金具をはずしラックを所定設置場所の壁に寄せてください。はずした補助金具と、ネジ③M5×16（3本）は再度、壁から離す場合に必要ですので、一緒に大切に保管してください。お好みで、ラックシステムに同梱されています、後板(中)を支柱に取り付けてください。また、本ラックは事故防止の為、必ず付属のワイヤーをネジで固定して、転倒防止をおこなってください。（ラックの取扱説明書も合わせてご覧ください。）

※電源コードやケーブルなどは付属のタイベースと結束バンドなどを利用しまとめ、挟み込まないように確認して、壁に寄せてください。



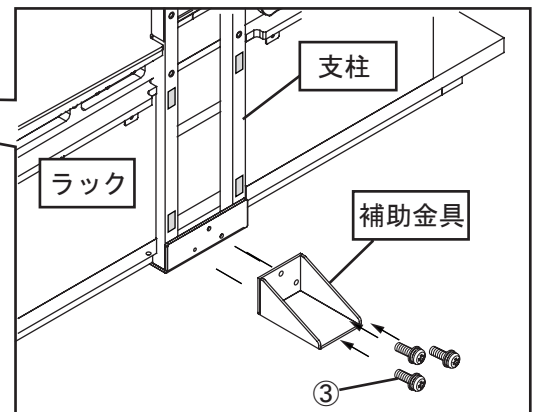
【後板(中)について】

後板(中)・ファスナー（予備×4）はラックシステムに同梱されています。板金に重ならないように、取付けてください。詳細は、ラックシステムの設置マニュアルを参考にしてください。



【補助金具について】

テレビの配線や掃除の際に、ラックを一時的に壁から離すときは、必ず付属の補助金具を支柱に取り付けてください。

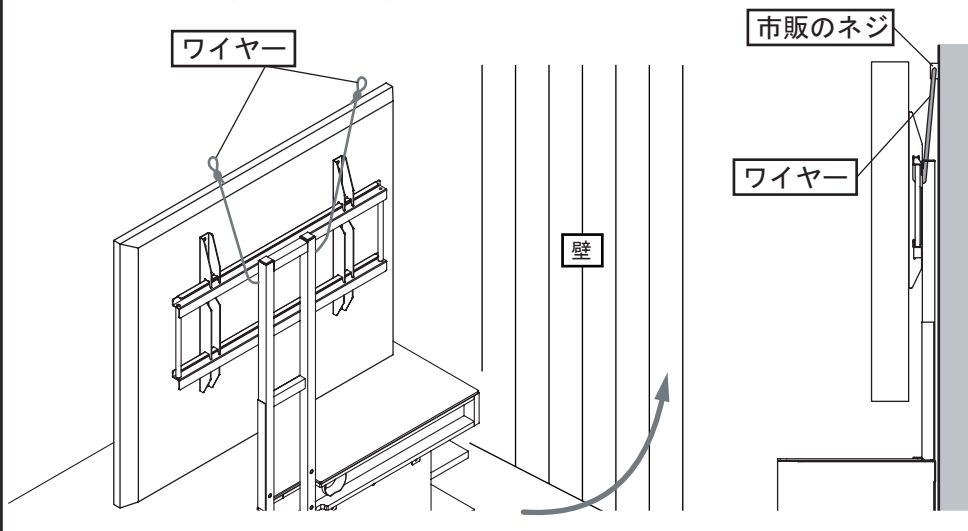


警告 壁から離す際は、必ず補助金具を取り付けてください。

注意 壁に寄せる際は、壁とラックの間にケーブル類を挟まないように注意してください。はずした補助金具とネジ③M5×16（3本）は再度テレビの配線や、掃除の際にラックを一時的に壁から離すときに使用しますので、大切に保管してください。

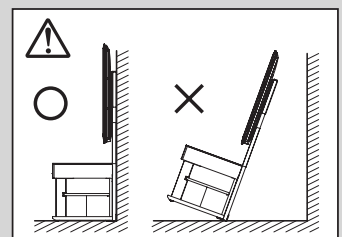
転倒防止について

1、ラックを壁に寄せて、設置の手順4で取り付けしたワイヤー（2本）を確実に支持できる壁や柱などに市販のネジでしっかりと固定してください。（取り付けるテレビ、高さによって取り付け位置が違います、テレビにあわせた位置で取り付けてください。ネジは壁にあったものをお選びください。）



警告

本ラックは安定したところに据え付けてください。また、必ず壁に寄せて設置し、転倒防止の処置を行なってください。転倒防止処置がない場合、本ラックが転倒し、けがや故障の原因となることがあります。

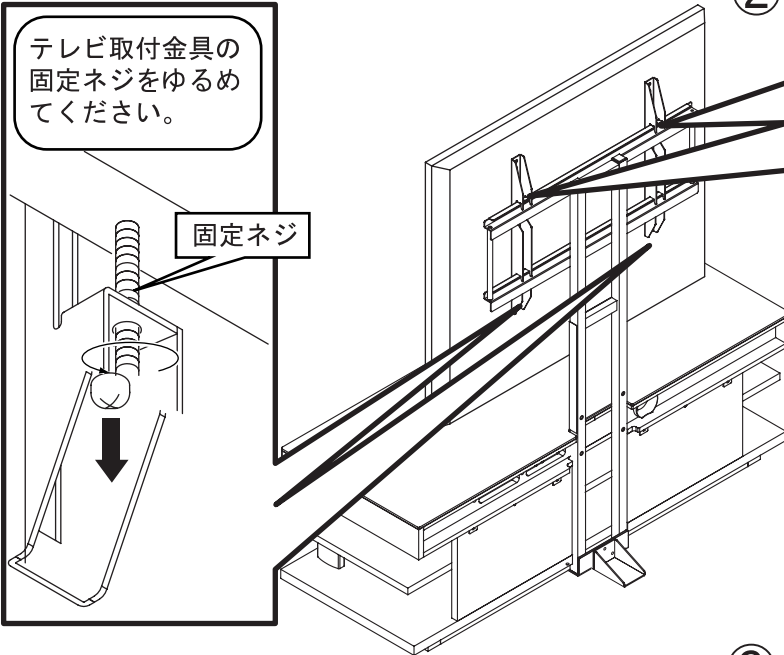


テレビの傾き調整について

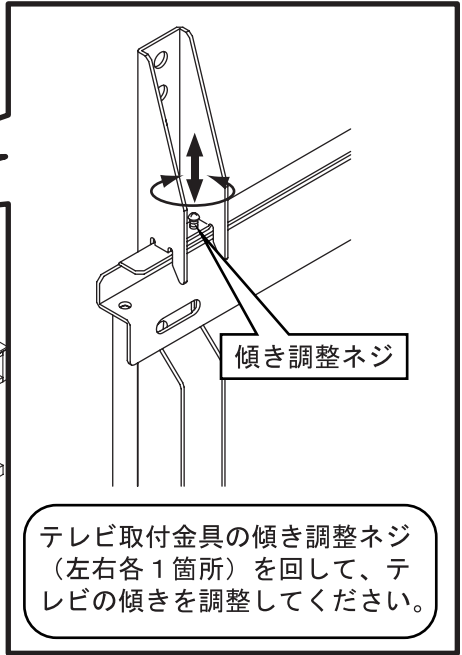
テレビを本金具に取付けた際に、テレビが傾くことがあります。傾きに応じて図のように微調整してください。

左右の傾き(床と平行)

① テレビ取付金具の固定ネジをゆるめてください。



②



テレビ取付金具の傾き調整ネジ(左右各1箇所)を回して、テレビの傾きを調整してください。

③

①でゆるめた固定ネジを再度しっかりと締め付けてください。

前後の傾き(壁などと平行)

前後の調整は、手順4までもどり、作業してください。(テレビは安全な場所へ一度おろしてください。)

・後ろに傾く場合
支柱の横金具上側を取付けるネジ穴の周辺に、傾き調整スペーサーを貼り付けてください。

・前に傾く場合
支柱の横金具下側を取付けるネジ穴の周辺に、傾き調整スペーサーを貼り付けてください。

※傾き調整スペーサー(厚さ1mm)は片側4枚まで重ねて貼り付けできます。左右同じ位置に同じ枚数使用してください。それ以上は不安定になりますので、取り付けはできません。



本スタンドは安定したところに据え付けてください。また、必ず壁に寄せて設置し、転倒防止の処置を行ってください。転倒防止処置がない場合、本スタンドが転倒し、けがや故障の原因となることがあります。

お問い合わせ窓口

ヤマハAV製品の機能や取り扱いに関するお問い合わせ

■ヤマハお客様コミュニケーションセンター オーディオ・ビジュアル機器ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-011-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-3409

〒430-8650 静岡県浜松市中区中沢町10-1

受付：月～金曜日 10:00～18:00 土曜日 10:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

■ヤマハオーディオ&ビジュアルサポートページ

お客様から寄せられるよくあるご質問をまとめておりますので、ご参考にしてください。

<http://www.yamaha.co.jp/product/av/support/>

ヤマハAV製品の修理、サービスパーツに関するお問い合わせ

■ヤマハ修理ご相談センター

ナビダイヤル
(全国共通)  0570-012-808

全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。

携帯電話、PHS、IP電話からは下記番号におかけください。
TEL (053) 460-4830

FAX (053) 463-1127

受付：月～金曜日 9:00～18:00 土曜日 9:00～17:00
(日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

修理品お持ち込み窓口

受付：月～金曜日 9:00～17:45
(土曜、日曜、祝日およびセンター指定の休日を除く)

北海道 〒064-8543 札幌市中央区南10条西1丁目1-50
ヤマハセンター内
FAX (011)512-6109

首都圏 〒143-0006 東京都大田区平和島2丁目1-1
京浜トラックターミナル内14号棟A-5F
FAX (03)5762-2125

名古屋 〒454-0058 名古屋市中川区玉川町2丁目1-2
ヤマハ(株)名古屋倉庫3F
FAX (052)652-0043

大阪 〒564-0052 吹田市広芝町10-28
オーク江坂ビルディング2F
FAX (06)6330-5535

九州 〒812-8508 福岡市博多区博多駅前2丁目11-4
FAX (092)472-2137

*名称、住所、電話番号、URLなどは変更になる場合があります。